

令和2年度 事業計画・収支予算

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 令和元年度 主な取り組みと今後の課題

| 項目 | 目標 | これまでの取り組み | 今後の方向性・課題 |
|-----------------------|--|---|--|
| 社会福祉施設の経営改善 | <ul style="list-style-type: none"> 経営管理の強化 サービスの強化 | <ul style="list-style-type: none"> 外部専門講師による研修会の開催 施設職員の施設間相互受入研修の実施 専門研修の受講促進 | <ul style="list-style-type: none"> 更なる経営管理意識の向上 効果的な人材確保対策の実施 充実した研修体制の構築 |
| 社会福祉施設におけるボランティアの参画拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ボランティアの主体的な活動の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 新規ボランティアの受入 施設間の取り組みの情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> ボランティアの活動範囲の拡大 ボランティアの安全管理対策 |
| 赤十字の特色を生かした地域貢献活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 支部・施設・ボランティア等の連携による地域貢献 | <ul style="list-style-type: none"> 介護予防の出前講座の開催 育児相談、子育て支援講座の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の社会福祉ニーズの再確認 新たな地域貢献活動の展開 |

2. 令和2年度事業計画の主な取り組み

収入 195億円 (前期繰越分を含む) / **支出 153億円**
(社会福祉施設特別会計) 差引額 41億円

(1) 社会福祉施設の経営改善

- 課題改善の研修会の開催、サービスの安全性と質の向上を目的とした専門研修の受講促進等

(2) 人材確保・研修体制の構築

- 地域の実情を踏まえた人材確保の実現に向けた課題の検証
- 施設職員の研修体制の構築に向けた課題の検証

(3) ボランティアの活動範囲の拡大

- 施設職員の専門性を最大限に発揮できる体制の構築に向けた課題の検証

(4) 地域貢献活動の強化

- 地域の社会福祉ニーズの再確認及び新たな活動の検討

3. 令和2年度事業計画のハイライト

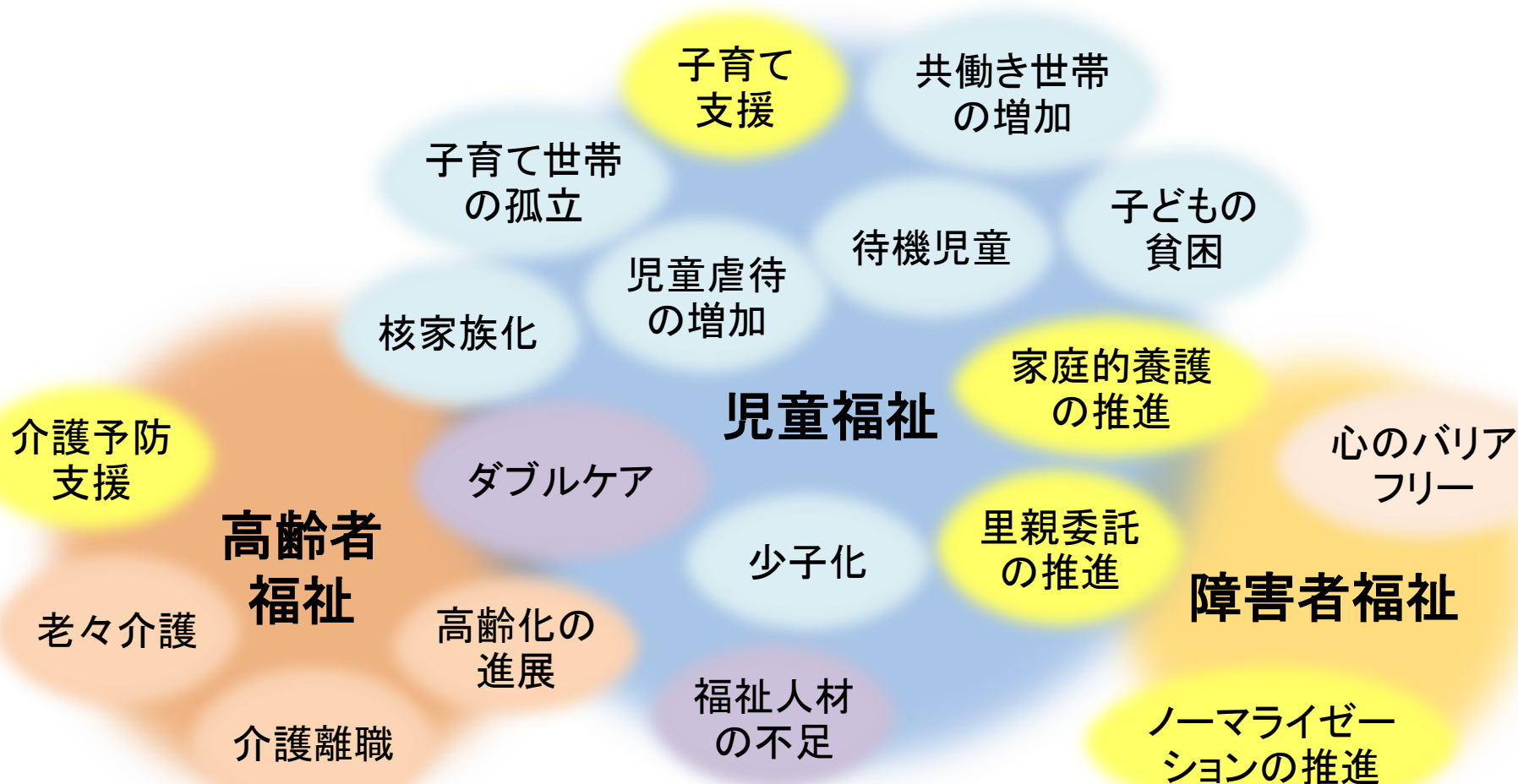
社会福祉施設の経営
改善及び地域貢献活
動の強化



社会福祉施設の経営改善及び地域貢献活動の強化

ア 背景・目的

■ 超少子高齢社会の進行、社会福祉ニーズの多様化



イ 施策の概要

■ 社会福祉施設の経営改善

(ア) 経営管理意識の向上

- ・ 経営分析及び課題改善の研修会の開催

(イ) サービスの安全性と質の向上

- ・ 専門研修の受講及び施設間職員交流研修の促進
- ・ 施設職員のキャリアパスやキャリアラダーの検討

■ 地域貢献活動の強化

(ア) 地域貢献活動の方向性の明確化

- ・ 地域の社会福祉ニーズ及び他法人の取り組み事例の
検証

ウ 期待される成果

■ 社会福祉施設の経営改善

- 安定した施設経営を通じたサービスの質の向上
- 施設職員のスキルアップによる安全性の向上



特別養護老人ホームにおける、将来の人材確保を見据えた専門学校生の実習受入れ(埼玉県)



島根県の松江赤十字乳児院では、職員を対象とした幼児安全法講習を実施し、ケアの充実とスキルアップを図っています。

■ 地域貢献活動の強化

- 赤十字の特色を生かした社会福祉ニーズへの対応による、地域の福祉拠点としての機能強化



地域住民を対象とした子育て支援講座の開催（長野県）

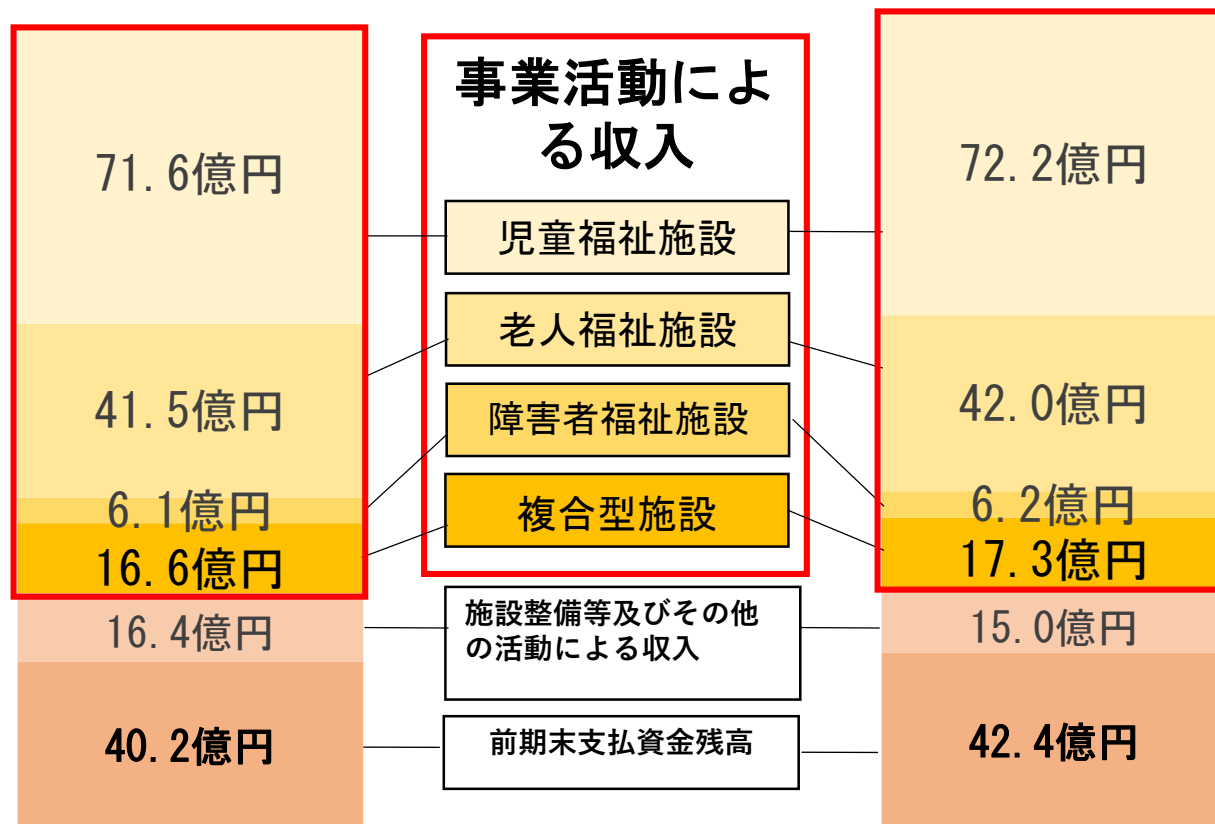


福岡県の特別養護老人ホーム豊寿園では、地域の子ども達の福祉に対する関心を高めるとともに、他者を思いやるあたたかい心を育むことを目的として、近隣の小学校児童との交流事業に取り組み、「高齢者が安心して生活できる地域作り」に貢献しています。

4. 社会福祉施設特別会計収支予算のあらまし(歳入)

192.6億円

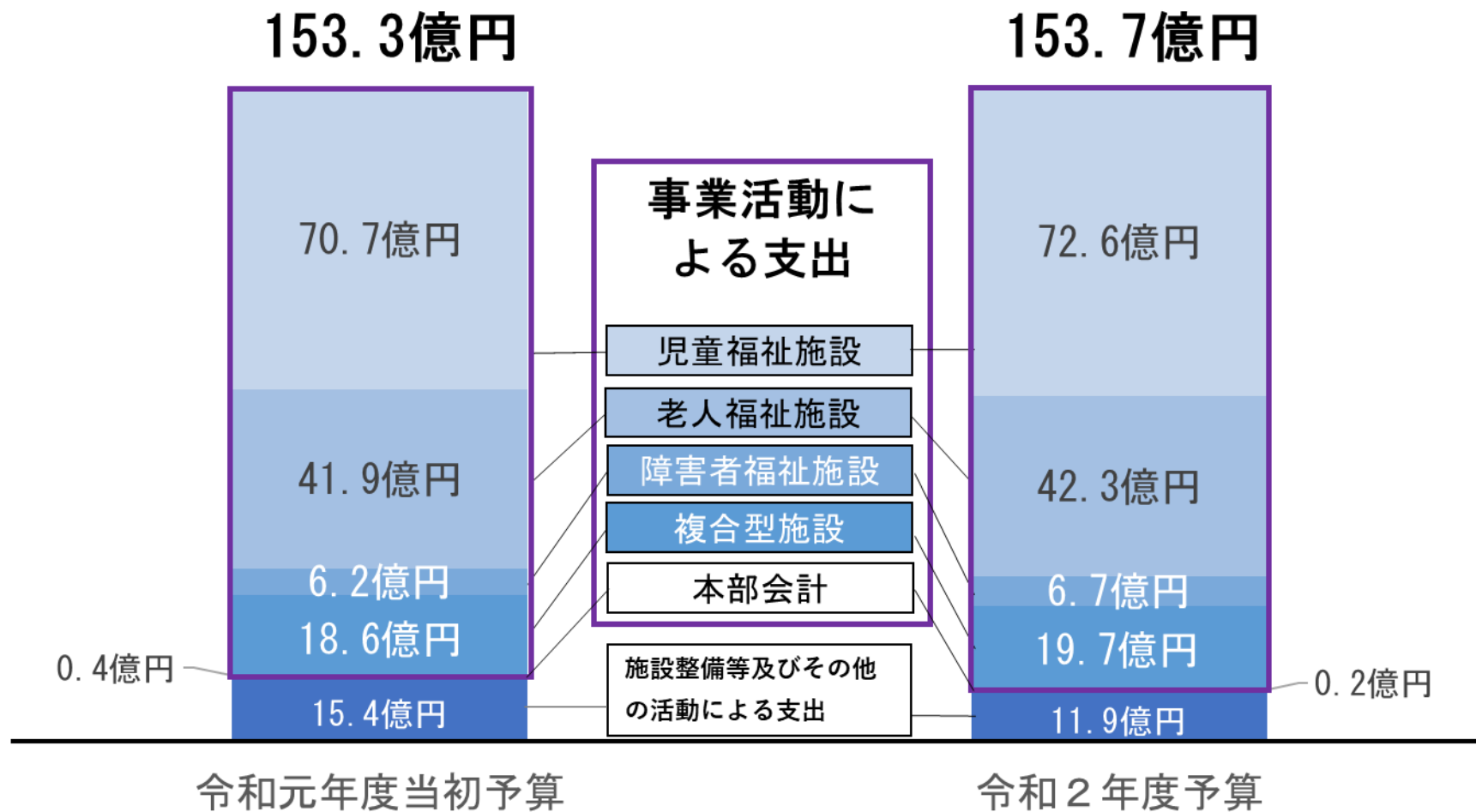
195.4億円



令和元年度当初予算

令和2年度予算

5. 社会福祉施設特別会計収支予算のあらまし(歳出)



39.2億円

収支差引額

41.7億円